

優良工事等 受賞者に聞く！



受賞の喜びの声

工 事 名	R1金沢河川国道防災対策その2工事
会 社 名	寺井建設株式会社
氏 名	坂井 邦洋
住 所	石川県羽咋郡志賀町富来領家町子の16番地
発注機関	国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

この度、荣誉ある表彰を頂き心より厚く御礼申し上げます。
この荣誉ある表彰は、工事に関わる全ての皆様のご指導、お力添えのお陰であることを深く感謝申し上げます。

【苦勞した点】

本工事は、一般国道160号佐々波地区において風化が進行し著しい浸食を受けている切土法面の補強工事です。
着工後、当地区の法面補強工事を本工事により完了させる方針となり、大幅な増工となりましたが、迅速に工程計画を見直し、工期内に無事工事を完成出来ました。
資機材の設置ヤードについては、当初計画では歩道内に計画されていましたが、歩行者通行スペースの確保のため車線減少もしくは片側交互通行など交通規制が必要となること、また終点側が視認性の悪いカーブで危険と判断したことから、近接した民地を借上げし資機材の設置ヤードとすることで、歩道及び車道の交通規制を解消することが出来、安全に施工することが出来ました。

【創意工夫した点】

本工事箇所は海に隣接し、塩害による錆の発生が予想された為、2つの錆の発生防止策を行いました。1つは法枠工の施工時、雨天等の気候条件により工程が遅延して鉄筋の露出期間が長くなる場合は、防錆剤による防錆処理を行いました。もう1つは既設の法枠で天端部の発錆箇所が見受けられたことから、本工事では法枠天端部のフレーム部材に樹脂コーティングしたものを使用しました。
また、モルタル吹付作業については、吹付箇所がプラントヤードから高低差40m超え、かつ水平距離200mと離れていることから、モルタル圧送能力の不足による骨材分離などの品質低下が懸念されたため、空気圧縮機を1台から2台に増やし、モルタル圧送を確実にを行い、吹付モルタルの品質を確保しました。

【新技術・新工法(ICT関連)などの活用】

モルタル吹付枠については、表面剥離の抑制(耐衝撃・耐磨耗・耐凍害性の向上)、初期プラスチック収縮ひび割れの低減を考慮し、モルタルにマイクロファイバーを添加して、吹付作業を行いました。この結果、今のところ法枠に有害なひび割れの発生を確認していません。

【技術の伝承など担い手確保の取り組み】

現在、建設業で大きな課題となっているのは、建設業就業者の減少及び高齢化の進行です。弊社においても作業員の高齢化の進行、若年入職者不足による担い手不足から、次世代への技術・継承が大きな課題となっています。
そこで、従来からの建設業のイメージである「キツイ・汚い・危険」の旧3Kを払拭し、「給与・休暇・希望」の新3Kを目指し、工事現場の作業環境の改善・週休2日制度の促進などを行い、誰もが働きやすい現場環境づくりに向けた取り組みを行っています。

【自由掲載(今後の目標や建設業界などへの要望など)】

建設業は、様々な職種の人が協力し合い、ひとつの物を完成させていく仕事です。今後の建設業界は、IT化やAIの導入によりコンピューターが仕事を手助けする時代になるものの、人間の仕事が無くなることはないと思います。請け負った仕事を最後までしっかりとやり遂げる強い責任感を持ち、これからの時代を生き残れる技術者を目指していきます。



●問い合わせ先
寺井建設株式会社 坂井 邦洋
TEL(080)2959-8225